

言語教育における1年、2年、3年保育の 能力差について

島田南幼稚園 杉村 澄江

先年、静岡市に於て、日教組の教育研究大会が開催されたことがあります。その際、ある小学校の実験報告として、小学校入学児童について幼稚園出身者、保育園出身者、その何れへも行かない者を以て別々のクラスを編成して、比較研究された結果が発表されました。それに依りますと、他の二つのクラスの子どもが、幼稚園出身のクラスの子どもと一緒に教育出来るようになる迄には、相当の準備期間を要したという発表のありましたことを、記憶しております。また、新入児童が文字を書くということだけについていえば、一年たてば幼稚園出身者も、そうでない者も殆んど差はなくなるが、書体の巧さという点まで考えると、相当の開きがあり、幼稚園出身者に追付くには、凡らく二、三年は要するであろう、また、初めて漢字を教える場合、幼稚園出身者は覚えも早く、字の形も優れている点など、幼稚園教育の効果の表われであるといっております。以上は幼稚園へ行った者と行かない者との比較であります。同じく幼稚園へあがった者の中でも、一年保育、二年保育、三年保育の間には、各面に渡って極めて大きい能力差のあることを発見いたします。例えば、絵画に於ける色、形、観察の深さ、内容の豊かさなど、非常に大きな相違を見出すことが出来ます。また、音楽についていえば、音の高低、強弱、長短、速度の判断や、リズムに対する反応などについて、音楽素質診断テストの結果を比較してみると、これまた、非常に大きな能力差のあることを示しております。ここでは在園年数の長短が特に言語教育の上に於て、どのような結果となって表われるか、すなわち一年間保育、二年間保育、三年間保育が、言語教育の上でどのような能力差を示しているか、私どもの幼稚園の五才児について調査した事項を記して、参考に供し度いと思えます。

聞く事の能力が、どの程度発達しているか客観的に測定する必要を感じ、私どもはここ三年程前より田中教育研究所発行の「言葉の聞き方テスト」を実施してまいりました。

この聞き方テストは、聞くことの能力を三項目に分析して、問題を作製してあります。

1. 簡単な言葉を聞きとる力……一〇問

2. 話を的確に聞きとる力……五問

3. 話の要点をとらえる力……一〇問

この三つの結果で、子どもの聞くことの能力がどの程度に発達しているかを、客観的に測定するばかりでなく、個人の能力がどの点で優れ、どの点で劣っているかの診断が出来、指導上の参考資料が得られるわけです。

第一表はそのテストの結果を比較したものです。

このように一、二、三年保育では、総合的能力に於て開きがあることがわかります。この表は、前記三項目の得点を合計して、それを偏差値によって表わしているが、それを各項目別に分析してみると、一、二、三年保育共に「簡単な言葉を聞きとる力」では殆んど能力差は認められないのに、「話を的確に聞きとる力」で、やや差が生じ、最後の「話の要点をとらえる力」に至って極めて大きな能力

第一表 言葉の聞き方テスト

偏差値 評価段階 保育年数と 人員	65以上	55~64	45~54	35~44	34以下	偏差値 合計
	秀	優	良	可	不可	
3年間保育 15名	3	7	5	0	0	56
2年間保育 40名	3	13	19	5	0	53
1年間保育 45名	1	8	21	12	3	49

一、二、三年保育の間に、どのような相違があるかを見出すことの必要を感じ、一つの試みとして左のような方法を選びました。先ず同じ条件で、三クラスのグループに教師が一つの話を読んで聞かせ、子どもたちが聞き終った一定の時間を置いてから、幼児一人ずつ

差のあることを発見いたしました。

このテストに依って聞くことの能力は簡単にしかも正確に知ることが出来るが、言葉で発表する能力の測定は出来ません。

そこで私共は一歩進めて、話の要点をとらえる力と同時に、その話の大意を言葉で発表する能力を測定し、

「何だろうな、わからないよ」「お月様というものさ、僕お月様探しにゆくの」「なあーんだ」山の兎は笑いました。「お月様ならほらあそこにあるじゃないの」兎は空をゆびさして教えました。丸いお月様ではありません。三日月様です。子豚は頭を振って「連うくお月様はまんまるだよ。お母さんがそうだったよ。僕の絵本にも丸いお月様があったよ。お月様は丸いんだよ。あんなのがお月様だなんて兎ちゃんのうそつき。うそつきは僕は嫌い」子豚はお

に聞いた話を発表させ、その結果を記録してみました。話材は幼児達が知っている正しい判定が出来ないので、一度も話したことの無い童話、「小豚とお月様」を用いました。

話の内容は、

出たく月がまーるいくまんまるい……

小豚がうたを歌いながら山へ登ってゆきました。山兎が「ぶうちゃんどこへ行くの」と聞きました。「僕こんなまるいもの探しに行くんだよ」子豚は両手で丸い輪を作りま

こつて山を登つてゆきました。

以上の話を次のように質問してみました。

質問……今朝話した子豚とお月様のお話はど

んなお話かはなしてごらんなさい。

この調査の結果が第二表のAであります。

この表に見る通り、全然答えなかった者が

が、三年保育で三名(二〇%)、二年保育で十

四名(三五%)、一年保育で三三名(七三%)

と保育年数の長短に依つて非常に大きな開き

があります。

次にこの全然答えなかった子どもについ

て、前の童話を三つの段階に分け、その発表

能力を更に細かく調べてみました。

1 子豚は何を探しに行ったの。

2 兎さんが教えてくれたでしょ。何ていい

ましたか。

3 そうしたら小豚はどうしましたか。

以上、三問の調査の結果が第二表のBであ

ります。

この調査で、一言も答えなかった者が三名。

ありました。その内二名は、知能程度は普

第二表 聞いた話の発表力テスト

(括弧内%) (A)

保育年数と人員	回答	要点をえ	
		えたもの	えなかったもの
3年間保育 15名		12 (80)	3 (20)
2年間保育 40名		26 (65)	14 (35)
1年間保育 45名		12 (27)	33 (73)

(B)

保育年数と人員	回答	1	2	3
		出来たもの	出来たもの	出来たもの
3年間保育 3名		3	3	3
2年間保育 14名		12	9	8
1年間保育 33名		28	14	22

通、または普通以上であり、聞き方テストも

普通であつた処から推察して、凡らく話の内

容は理解していたが、二人共無口で、内向性

であるため、答えなかったのだと思われま

す。もう一人は知能程度も低くそのため、話

の内容がよくわからなかったのだと思われま

す。なおまた、B表に於て一年保育で第1、

第3問に比べ第2問の「兎さんが教えてくれ

たでしょ。何ていいましたか」の答が出来て
おりませんが、これは幼児が登場人物の初め
と最後の動き即ち、小豚が山へお月様を探し
に行ったこと、おこつて山を登つて行ったこ
との二つの印象がつよく残り、中間部は記憶
がうすれて忘れてしまったのではないかと思
われます。

以上この言葉のテストに現われました能力

第三表 (括弧内%) ひらがなを読む力

保育年数と人員	字 数	0	1~10	11~20	21~30	31~40	40以上
		3年間保育 15名	0	1 (7)	0	1 (7)	3 (20)
2年間保育 40名	0	2 (5)	2 (5)	3 (8)	7 (17)	26 (65)	
1年間保育 45名	6 (13)	14 (31)	6 (13)	2 (5)	3 (7)	14 (31)	

第四表 (括弧内%) ひらがなを書く力

保育年数と人員	字 数	0	1~10	11~20	21~30	31~40	40以上	名 前 の 者 書 ける
		3年間保育 15名	0	1 (7)	1 (7)	2 (13)	7 (46)	
2年間保育 40名	0	4 (10)	2 (5)	17 (42)	5 (13)	12 (30)	40 (100)	
1年間保育 45名	10 (22)	13 (29)	9 (20)	4 (9)	5 (11)	4 (9)	30 (74)	

